



第57回 TQE特別委員会 略報

3月21日《第5回科学技術教育フォーラム》準備最終確認 (休日・春分の日) 初等・中等・高等教育における実践的なアクティブラーニングを紹介



主要議題は3月21日開催にむけて準備中の《第5回科学技術教育フォーラム》予稿集原稿も届き、開催前の最終確認、本番に向けていよいよ準備万端整いました



平成28年3月2日(水)、午後6時から8時まで、高円寺にある日本科学技術連盟高円寺ビルの研修室で6名の委員が参加して第57回TQE特別委員会を開催しました。

最初に鈴木委員長が前回委員会議事録を確認、続いて3月21日(月：春分の日)開催に向け、準備も最終段階に入った《第5回科学技術教育フォーラム》の道案内、ビラや配布資料、会場設営から当日受付など、各委員の作業分担などについて最終確認を行いました。

《第5回科学技術教育フォーラム》は、次期学習指導要領改訂でも取り上げられるとみられる「問題解決力を育むためのアクティブラーニング」が共通テーマ、既にゲストスピーカーからの予稿集用の原稿も事務局に届き、編集作業が行われるなど最終段階にありました。

登壇予定の鈴木委員長、椿委員、西村委員も既に準備完了を確認しました。

既に参加申込みの受け付けを開始、締切りまで残り少なくなりましたが、いよいよ本番への秒読み段階に入りました。

2016 第5回科学技術教育フォーラム

科学技術立国を支える問題解決教育 —産官学共創のアクティブ・ラーニング—

21世紀の科学技術立国を担う将来の理数系人材育成は、産官学で取り組むべき喫緊の課題です。1960年代から1980年代にかけて日本の技術競争力大躍進の背後にあった統計的問題解決法は、今日、課題解決とイノベーション創造のための21世紀型ソフトスキルとして、海外において広く普及定着し、企業のみならず学校教育の場で早期より体系的に教育され成果を上げています。

グローバル化がますます進む21世紀、教育界においても世の中に出た時に活躍できる子どもを育てるため、主体的・協働的な学び、すなわち、アクティブ・ラーニングの実現が急務の課題となっています。この目的の一つに、データに基づいて問題を発見し、その問題を主体的・協働的・創造的に解決する力の育成があげられます。

そこで、小・中・高等学校、大学における教育関係者と品質立国日本を代表する産業界の関係者で、データの取り方、問題解決の考え方とその力の育成方法を共有することを目的として、日本品質管理学会TQE特別委員会の企画で第5回科学技術教育フォーラムを下記の要領で開催いたします。

ご参加のほどお願い申し上げます。

1. テーマ **『産官学共創のアクティブ・ラーニング』**
2. 日時 **平成28年3月21日(月)13時～17時30分**
3. 会場 **筑波大学 東京キャンパス文京校舎 119講義室**
4. 参加費 **無料(但し、資料代¥1,000)**
5. プログラム(敬称略)

座長：東京学芸大学 准教授 西村 圭一
慶應義塾大学大学院 教授 渡辺 美智子

- 開会挨拶日本品質管理学会 会長 樫 広計
- 基調講演 学校教育の新展開と問題解決教育文部科学省初等中等教育局 視学官 長尾 篤志
- 第1部 日本的品質管理の父 石川 馨先生の教えとアクティブ・ラーニング
.....日本品質管理学会TQE特別委員会委員長(日本品質管理学会 元会長) 鈴木 和幸
- 第2部「問題解決のためのアクティブ・ラーニング教材」実践事例並びに教材紹介
- ・ ジグソー法を取り入れたアクティブ・ラーニング広島大学附属東雲小学校 教諭 松島 充
 - ・ 問題解決を重視したアクティブ・ラーニング教材
.....東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭 高橋 広明
- ・ SGHIにおけるPPDACの活用慶應義塾大学大学院 教授 渡辺 美智子
電気通信大学 講師 山本 渉
- 第3部 パネルディスカッション
長尾 篤志、鈴木 和幸、渡辺 美智子、山本 渉、西村 圭一 司会：樫 広計
- 閉会挨拶職業能力開発総合大学校 教授・TQE特別委員会 委員 入倉 則夫
6. 主催ならびに協賛・後援
主催：(一社)日本品質管理学会、統計数理研究所、(一社)日本統計学会、応用統計学会、日本信頼性学会
協賛：(一財)日本科学技術連盟、(一財)日本規格協会、統計関連学会連合
後援：文部科学省、総務省
 7. 申込み URL <http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html> (2月1日～3月15日)
(先着80名：初等中等教育関係者を優先します)
 8. 問合せ先 (一社) 日本品質管理学会 事務局
E-mail apply@jsqc.org TEL 03-5378-1506

プログラム(敬称略)

13:00～ 13:05

開会挨拶

○日本品質管理学会 会長 椿 広計

13:05～ 13:45

基調講演 学校教育の新展開と問題解決教育

○文部科学省初等中等教育局視学官 長尾 篤志

13:45～ 14:15

第1部 日本的品質管理の父 石川 馨先生の教えとアクティブ・ラーニング

○日本品質管理学会TQE特別委員会委員長 (日本品質管理学会 元会長)

鈴木 和幸

14:15～14:25 休憩

第2部 「問題解決のためのアクティブ・ラーニング教材」

実践事例並びに教材紹介

14:25～14:45 ジグソー法を取り入れたアクティブ・ラーニング

○広島大学附属東雲小学校 教諭 松島 充

14:45～15:05 問題解決を重視したアクティブ・ラーニング教材

○東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭 高橋 広明

15:05～15:45 SGHにおけるPPDACの活用

○慶應義塾大学大学院 教授 渡辺 美智子

○電気通信大学 講師 山本 渉

15:45～16:00 休憩

16:00～17:20

第3部 パネルディスカッション

長尾 篤志、鈴木 和幸、渡辺 美智子、山本 渉、西村 圭一

司会：椿 広計

17:20～17:30

閉会挨拶

○職業能力開発総合大学校 教授・TQE特別委員会 委員 入倉 則夫

参加申込み：URL <http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html> へお願いします。